

## 青山学院大学スクーンメーカー記念ジェンダー研究センター 「青山学院における女子教育の検証 - オーラルヒストリー・プロジェクト」

### 短大卒業生への聞き取り調査について

#### ジェンダー研究センターの目的

センターは、青山学院大学が、青山学院女子短期大学において行われていたジェンダー研究を受け継ぎ、青山学院における女子教育の伝統を新しい時代に継承するとともに、キリスト教精神に基づいた、本学におけるジェンダー研究の遂行及びジェンダー教育の発展を通じて、青山学院及び社会におけるジェンダー平等及び性の多様性の尊重に貢献することを目的とします。

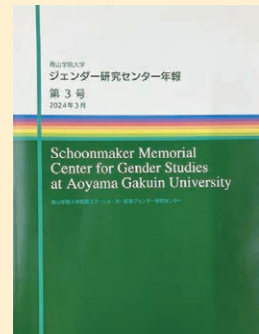
ジェンダー研究センター <https://www.aoyama.ac.jp/research/research-center/smcgs/>

#### プロジェクトメンバー (第3期)

◎小林 瑞乃	コミュニティ人間科学部 教授
河見 誠	コミュニティ人間科学部 教授
後藤 千織	コミュニティ人間科学部 准教授
菅野 幸恵	コミュニティ人間科学部 教授
西山 利佳	コミュニティ人間科学部 教授
山田美穂子	コミュニティ人間科学部 教授
輪島 達郎	コミュニティ人間科学部 准教授
趙 慶姫	青山学院大学 特任教授

第1期・第2期は吉岡康子コミュニティ人間科学部准教授も参加

◎プロジェクトリーダー



この研究プロジェクトの研究目的は「青山学院女子短期大学の来歴とそこに学んだ学生達の学びの総体について個々人の経験や思い出の中に探求し、学院における女子教育の歴史的意義を未来に向けた資産として継承・発展していくことを目指す」というものです。

プロジェクトの期間は、第1期(2021年度～2022年度)、第2期(2023年度～2024年度)が終了し、2025年度～2026年度の第3期もあと1年となりました。

プロジェクトの先生方による聞き取り調査には全国7支部の協力のもと、多くの卒業生の参加をいただいています。また本部を通じて高等部卒の方にもご協力いただいています。その研究成果は、プロジェクトの研究期間の1年後にそれぞれ公表されることになっており、現在第1期・第2期分の成果が『青山学院大学ジェンダー研究センター年報』第3号(2024年3月)・第5号(2026年3月)に掲載されています。第3期分は2028年3月発行の年報に掲載される予定です。

ご興味のある方は <https://www.aoyama.ac.jp/research-center/smcgs/newsletter>  
または右の二次元コードから年報をご覧ください。



### 同窓生スクランブル

石井三代さん(39E)から3冊の著書(著者名は石井佐和)とお手紙を同窓会にいただきました。

様々な経験と人との繋がりによって本を出版された同窓生を紹介します。

お母様との10年間の介護生活を日記のようにまとめた『母のあし音』(2003年)、その『母のあし音』を詩画集『母のあし音』

として出版(2020年)。自費出版でと思っていたものが、周りの

方々の要望で出版社から全国出版できたこと。

その本を読まれた方が3か国語に訳して絵本にしたいと申し

出られ、画家、翻訳の方のボランティアや、学生時代の友人の偶然の出会いから出版社と繋がったことによる詩画

集の出版。石井さんは「奇跡の本」とおっしゃっています。また、40年続けた学習塾を閉じたあと74歳で日本語

学校の講師を3年間された経験を2019年に出版した本を再版の要望

により加筆して『異文化を学ぶアジアの若者たちへー今、日本語学校で』を

2025年4月に出版されました。

介護、学習塾、日本語学校講師などをされながら、たくさんの人とのつながりを大切にいらしたことがうかがえるお手紙でした。

